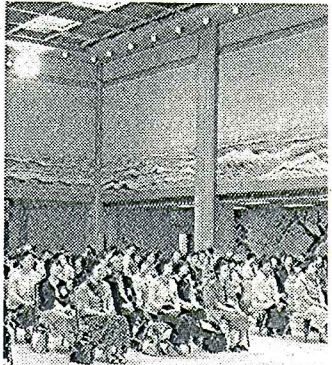


### 新宗連「第26期第5回理事会」

# 東日本大震災復興支援活動を報告

## 結成60周年記念集会の説明も



ての心構えをくるとともに、自らのお役に對する理解を深めることを目的とする。今回は新任の総務部長、教務部長合わせて79人が参加し

写真。本会から庭野会長(新宗連特別顧問)、庭野光祥次代会長(同理事)はじめ、渡邊恭位理事長(同常任理事)、川端健之総務局長(同評議員)、庭野欽司郎顧問(同)、酒井教雄顧問(同)らが出席した。

開会に先立ち、参加者一同で円応教本部の本殿に参拝し、世界平和と東日本大震災の犠牲者追悼、被災地の早期復興を祈念した。

新宗連(新日本宗教団体連合会)の「第26期第5回理事会」が9日、兵庫・丹波市の円応教本部五法閣ホールで開かれ、理事28人(委任状提出者を含む)と評議員、総支部の会長・事務局長ら合わせて60人が参加した。



お年寄りとの触れ合い、被災地域での清掃・片付け作業などに携

い」と説明、その上で、それぞれが仏性を開顯していく大切さに触れ、「智慧の眼を開く意味で、教えを学ぶことは最も大事なこと」と説いた。

さらに企画委員会からは、「夏期の電力使用削減・啓発運動」として、これまでの電力ダイエット運動の経験を生かし、省エネ活動、新たなライフスタイルの創造に取り組んでいくことが提案された。併せて、「東日本大震災犠牲者慰霊祭」(仮称)についても案が示され、実施の可能性を探り、検討されることとなった。

この後、各委員会・機関から報告が行われた。

### 新宗連「国際救援基金」

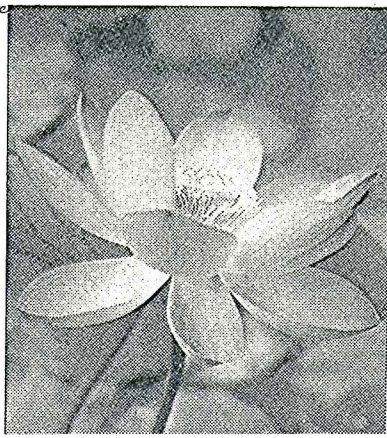
## 第2次復興支援 6団体に総額1200万円

9日、兵庫・丹波市の円応教本部で開催された新宗連「第26期第5回理事会」の席上、同「国際救援基金」から東日本大震災の第2次復興支援として、6団体に對する総額1200万円の拠出が発表された。概要は、次の通り。「国際救援基金」から被災地支援のために拠出された累計は、前回の500万円と合わせ1700万円となった。



●特定非営利活動法人(NPO法人)「AMD A」/500万円/「東日本大震災国際奨学金」  
●あしなが育英会/300万円/「東北レインボーハウス」(仮称)建設など

人が会場を訪れた。当日は、「開祖さまとの想い出」と題して酒井教雄顧問が講演に立った。酒井顧問は、本会教務部長、理事長として庭野日敬開祖のそばで仕えた日々を振り返り、庭野



### 二千年蓮 開花

大聖堂1階庭園

12日、大聖堂1階庭園の「二千年蓮(大賀蓮)」の一輪が今年初めてピンク色をした花

を開いた日には、花が確認本部で蓮「のは光蓮」「法華経の花40種



【長野】長野場て記念員ら約7た。奉獻養に続きん(30)、(44)が体中で、田の体調の就職を通沿った見できるよびを発表講話に克典顧問び、実践己中心的め、他を